

2008年8月18日
MR/J33/08

メディア用原稿
非公式記録



**UNITED NATIONS
UNIVERSITY**

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京渋谷区神宮前5-53-70

Tel.: 03-5467-1212
Fax: 03-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: <http://www.unu.edu/>

言語の役割を焦点とする 国連大学/ユネスコ・グローバル化セッション会議

内容: 国連大学/ユネスコ国際会議
「グローバル化セッションと言語～豊かな遺産を守るために～」

日時: 2008年8月27日(水)～28日(木)

場所: 国連大学本部(渋谷区)

主催: 国際連合大学(UNU)、国連教育科学文化機関(ユネスコ)

共催: ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)

協賛: 外務省(MoFA)、文部科学省(MEXT)、日本ユネスコ国内委員会(JNCU)

背景と目的:

2007年5月、国連総会は、国際社会における多言語主義は、多様性の調和と国際的な理解を深めるとして、2008年を「国際言語年」と宣言した。

動植物が絶滅するように、世界に現存する言語も息絶えつつある。言語は、過去の知識と英知を伝える重要な手段であり、言語が消滅すれば、在来知識の伝達は途絶えことになり、土着の文化や遺産、そして人間がもつ文化そのものが危機にさらされる。

また、言語は、国際社会が努める持続的開発の達成、貧困の削減、世界平和において非常に重要な役割を果たしているにもかかわらず、見落とされがちな分野である。言語の多用性、特に少数派の言語や絶滅の危機に瀕している言語を守り促進していくことは、現在のグローバル化・プロセスにとっての大きな課題であり、また必須でもある。

グローバル化セッションをテーマとして毎年開催されている国連大学/ユネスコ国際会議では、今年、グローバル化セッションが多言語主義と言語にもたらす課題と機会を検証する。また、世界の言語が生存していく可能性および社会における言語の多様性の促進に、最も有効な戦略や政策を特定する。

本会議について

- 本会議では、世界中の著名な専門家が、国際的に取り決められた開発目標(ミレニアム開発目標や万人のための教育など)の達成や文化多様性の促進、また文明、文化、民族の間の建設的な対話の実現にあたって、言語が果たす重要な役割について話し合う。本会議の開会挨拶には、松浦ユネスコ事務局長も参加。また、第1日目の午前中は、以下の4名による基調講演が行われる。

- ヴィグディス・フィンボガドッティル氏、アイスランド共和国元大統領、言語担当ユネスコ親善大使
 - オラビイ・ババララ・ジョゼフ・ヤイ氏、ユネスコ執行委員会委員長、ユネスコ・ベニン政府代表部大使
 - スティーブン・メイ氏、ワイカト大学（ニュージーランド）言語・識字教育講座教授
 - アダマ・サマセコウ氏、アフリカ言語アカデミー（ACALAN）事務局長、マアヤ・ネットワーク議長
- 第1日目の午後は、「多言語使用、翻訳、コミュニケーション、識字能力」「教育と学習」「絶滅危惧言語の保護」をテーマに、3つの連続パネルディスカッションを行う。
 - 第2日目の午前は「基準設定法律文書」に関するパネルディスカッションを行い、その後ワークショップの前に短い全体会議を行う。
 - 第2日目の午後は、4つのワークショップ・セッションを並行して行う。これらのセッションでは、4つのパネルディスカッションのテーマに関連する主な課題をさらに深く検討する。セッション終了後、最終全体会議を行う。
 - 全体会議（基調講演とパネルディスカッション）には日本語、英語、仏語の同時通訳あり。第2日目午後のワークショップ・セッションは英語のみで行われる。
 - 詳しいプログラム、講演者やパネリストのプロフィール、その他本会議についての詳細はウェブサイト <http://www.unu.edu/globalization/>（英語）参照。
 - 本会議はインターネットのウェブキャストでもライブにて閲覧可能（後日閲覧も可）。
(<http://c3.unu.edu/unuvideo/?198>)

本会議の取材をご希望される方は、国連大学広報部の谷野（やの）までご連絡ください。
電話：03-5467-1311、Eメール：media@unu.edu

=====

国際連合大学は、人間の安全保障や開発といったグローバルな課題に関する知識の普及と人材の育成を目的として1975年に設立された、本部（東京）を拠点に世界各地に研究のネットワークを持つ国連総会傘下の独立機関です。

=====